

エコルマホール開館 25+3 周年&ベートーヴェン生誕 250+3 周年記念企画

ベートーヴェンをたたえて

4人のヴァイオリニストによる ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 全曲演奏会

Four Violinists play Beethoven Ten Sonatas for Violin and Piano

山根一仁



©K.MURAI

前橋汀子



©藤山紀信

毛利文香



©Shiho Kim 2022

竹澤恭子



©鈴木孝

津田裕也



©Christine Fiedler

松本和将



北村朋幹



©TAKA MAYUMI

児玉 桃



©Marco Berggren

ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタといえば、4番「春」、9番「クロイツェル」が有名ですが、この2作品以外も、とても個性的で魅力あふれる、いかにもベートーヴェン! といった作品ばかりです。全曲演奏という機会の少ないこの企画のために演奏者を厳選。若手で個性の光る山根一仁と毛利文香、ベテランの竹澤恭子、そして、日本ヴァイオリン界のレジェンド、前橋汀子が参加。共演のピアニストも贅沢な顔ぶれがそろいました。ぜひ、この機会にお楽しみください!
なお、この公演はホール開館25周年&ベートーヴェン生誕250周年記念として企画しましたが、コロナ禍などで3年の時を経て、今回、開催します。

2023年12月16日[土]

① 13:00開演(12:30開場)

[出演]山根一仁(ヴァイオリン) / 津田裕也(ピアノ)

[曲目] 第1番ニ長調op.12-1、第2番イ長調op.12-2、第3番変ホ長調op.12-3

② 16:00開演(15:30開場)

[出演]前橋汀子(ヴァイオリン) / 松本和将(ピアノ)

[曲目] 第4番イ短調op.23、第5番ヘ長調op.24「春」

12月17日[日]

③ 13:00開演(12:30開場)

[出演]毛利文香(ヴァイオリン) / 北村朋幹(ピアノ)

[曲目] 第6番イ長調op.30-1、第7番ハ短調op.30-2、第8番ト長調op.30-3

④ 16:00開演(15:30開場)

[出演]竹澤恭子(ヴァイオリン) / 児玉 桃(ピアノ)

[曲目] 第9番イ長調op.47「クロイツェル」、第10番ト長調op.96

狛江エコルマホール

●728席 ●小田急線狛江駅北口、徒歩1分
●小田急線ご利用:新宿から約20分、登戸から約3分 ●バスご利用:調布駅から約20分

◆各公演券 全席指定 ¥2,500

◆全4公演セット券 全席指定 ¥8,000

期間限定発売

*全4公演同一席で鑑賞ができます。

一般発売:10月12日[木]

倶楽部E発売:10月6日[金]

一般発売:9月21日[木]~10月1日[日]

倶楽部E発売:9月15日[金]~10月1日[日]

♪未就学児のご入場はご遠慮下さい。♪託児サービス(2歳以上の未就学児ひとりにつき¥1,000・定員制・公演の2週間前までに要予約)がございます。お問合せください。
♪内容などに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

主催:一般財団法人狛江市文化振興事業団 <https://ecorma-hall.jp/> X @ecormahall

お申込み・お問合せ

エコルマホール 03(3430)4106 インターネット予約 <https://ecorma-hall.jp/>

*電話予約用とインターネット予約用は、別枠席になります。

♪発売初日のチケット予約・販売 ●電話予約 / 9:00~ ●インターネット予約 / 10:00~ ●窓口販売 / 発売初日翌営業日9:00~
*発売初日の窓口販売はいたしませんので、ご注意ください。



音楽の街-狛江

ECORMA HALL





エコルマホール開館25+3周年&ベートーヴェン生誕250+3周年記念企画

ベートーヴェンをたたえて

2015年、開館20周年記念企画として「ベートーヴェンをたたえて」と題し、ピアノ・ソナタ全曲演奏会、第九演奏会などを行い、好評をいただきました。その第二弾として2020年、開館25周年&ベートーヴェン生誕250周年記念として、ヴァイオリン・ソナタとチェロ・ソナタの全曲演奏会を企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で残念ながら中止。その後、ホールの大規模改修工事のため15か月間休館となり、開催ができませんでした。しかし、今回、3年振りに開催が実現の運びとなりました。出演者も3年の時間(とき)を経て、更に成長、円熟し、この日のために満を持してベートーヴェンの偉大な作品に挑みます。どうぞご期待ください。



山根一仁 Kazuhito Yamane / ヴァイオリン

1995年札幌生まれ。中学校3年在学中、2010年第79回日本音楽コンクール第1位、およびレウカディア賞、黒柳賞、鷺見賞、岩谷賞(聴衆賞)並びに全部門を通し最も印象的な演奏・作品に贈られる増沢賞を受賞。同コンクールで中学生の1位は26年ぶりの快挙であった。以後、桐朋女子高等学校音楽科(共学)在学中より国内外の音楽祭、マスタークラスでソ、室内楽とともに研鑽を積み、第26回出光音楽賞、第19回ホテルオークラ賞音楽賞、ディプロマなど数多く受賞。国内外のオーケストラと共演を重ね、テレビ・ラジオの出演も多い。これまでに故富岡萬、水野佐知香、原田幸一郎の各氏に、またドイツ国立ミュンヘン音楽演劇大学ではクリストフ・ポッペン氏に師事。

●あなたにとってベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタとは?

僕はベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタを弾く時、多くの楽器を自分の頭の中に登場させ、旋律や和声に当てはめることが大好きです。交響曲のような立体感を目指しながらも、室内楽の即興的要素も盛り込める、とても楽しいチャレンジです。



前橋汀子 Teiko Maehashi / ヴァイオリン

2022年に演奏活動60周年を迎えた前橋汀子は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味あふれる演奏で多くの聴衆を魅了し続けている。近年、親しみやすいプログラムによるリサイタルを展開する一方、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」全曲や、弦楽四重奏にも取り組む。最新CDはオーケストラ・アンサンブル金沢との「ベートーヴェン: ヴァイオリン協奏曲二長調、ロマンス第2番へ長調」。著書「私のヴァイオリン 前橋汀子回想録」が早川書房、最新刊「ヴァイオリニストの第五楽章」が日本経済新聞出版より出版されている。2004年日本芸術院賞。2011年春に紫綬褒章、2017年春に旭日小綬章を受章。使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・ヴァルネリウス。

●あなたにとってベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタとは?

長い演奏活動の中でベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタは数えきれないほど、弾いてきました。そのたびに楽譜を読みなおし、あらたな発見、気づきがあり、ベートーヴェンの音楽の奥深さ、偉大さを痛感します。

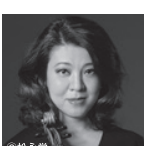


毛利文香 Fumika Mori / ヴァイオリン

2012年ソウル国際音楽コンクール優勝。2015年バガニーニ国際コンクール第2位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第6位、2019年モントリオール国際音楽コンクール第3位受賞。横浜文化賞文化・芸術奨励賞、川崎市アゼリア輝賞、青山音楽賞新人賞、ホテルオークラ音楽賞ほか受賞多数。国内のオーケストラのほかにもベルギー国立管、クレメラータ・バルティカ、ヨーロッパ室内管なども共演している。トリオ・リズル、エール弦楽四重奏団、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団のメンバーとしても活躍。ドイツ・クロンベルクアカデミーを経て、現在ケルン音楽大学にてミハエラ・マーティンに師事している。

●あなたにとってベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタとは?

私にとってベートーヴェンのソナタは、人生において何度も立ち返って自分を見直すような場所であり、また、その音楽に向き合う度に新しい発見がある特別な場所です。



竹澤恭子 Kyoko Takezawa / ヴァイオリン

桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位。1986年インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。以降、ニューヨーク・フィル、ボストン響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管との共演など世界の檜舞台で活躍。2014年には東フィル100周年記念ワールドツアーのソリストを務めた。室内楽でもリサイタルの他、水戸室内管弦楽団、セイジョザワ松本フェスティバルにも参加。しいぎアルゲリッチハウスのレジデント・アーティストを務めるなど幅広く活躍。使用楽器は、1724年製アントニオ・ストラディヴァリウス。現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。

●あなたにとってベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタとは?

これらの作品は、まさに「ピアノとヴァイオリンのためのソナタ」と呼ぶべきものであり、デュオソナタの基本的な基を学ばせてくれた作品。1番〜10番のソナタを演奏することにより感じた生命力につながる音楽エネルギーは、唯一無二のものであり、一生取り組んでいく作品です。



津田裕也 Yuya Tsuda / ピアノ

仙台市生まれ。東京藝術大学、同大学院修士課程を経て、ベルリン芸術大学で学ぶ。07年仙台国際音楽コンクールにて第1位、および聴衆賞、駐日フランス大使賞を受賞。11年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。

ソリストとして日本各地のオーケストラと共演するほか、東京・春・音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、武生国際音楽祭、木曾音楽祭などに定期的に招かれる。室内楽活動にも積極的で、多くの著名な音楽家と共演を重ねる。特に、白井圭(vn)、門脇大樹(vc)とはトリオ・アコードを結成し、国内各地で演奏。パスカル・ドヴァイヨン、ガブリエル・タッキーノ、ゴールドベルク山根美代子、角野裕、渡谷り子の各氏に師事。東京藝術大学准教授。



松本和将 Kazumasa Matsumoto / ピアノ

日本音楽コンクール優勝、全賞を受賞。プジョー国際ピアノコンクール第4位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位入賞。これまでにプラハ交響楽団、プラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、

新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを開始、東京公演・岡山公演を始め全国に広がっている。またコロナ禍を機にオンラインでの活動も積極的に取り組みはじめ、YouTube・オンラインサロン・Twitterなどで自身の演奏動画の配信などを行っている。これまでに2枚のレコード芸術特選盤を含む23枚のCDをリリース。東京音楽大学准教授、名古屋音楽大学ピアノ演奏家コース客員准教授として、後進の指導にもあたっている。



北村朋幹 Tomoki Kitamura / ピアノ

東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞受賞、浜松国際ピアノコンクール第3位など数々の国際コンクールで入賞。日本国内をはじめヨーロッパ各地で、オーケストラとの共演、ソロリサイタル、室内楽、

古楽器による演奏活動を定期的に行っている。録音は、「ケージ プリベッド・ピアノのためのソナタとインターリュード」を含む5枚のソロアルバムをフォンテックよりリリース。東京藝術大学に入学。2011年よりベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。またフランクフルト音楽・舞台芸術大学では歴史的奏法の研究に取り組んだ。これまでに伊藤恵、エヴァ・ポプウツカ、ライナー・ベッカー、イエスバーク・クリステンセンの各氏に師事。ベルリン在住。



児玉桃 Momo Kodama / ピアノ

バッハからメシアンを含む、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。パリ国立高等音楽院に学び、1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。その後、ベルリン・フィル、ボストン響、

モントリオール響などと共演。また、2008年メシアン生誕100周年記念シリーズ公演、2013年ルツェルン音楽祭、ウィグモアホール、東京オペラシティ文化財団の共同委嘱によるリサイタルプロジェクトなど、個性的な活動が高く評価される。CD録音も活発に行い、オクタビア・レコード、ECMLレーベルより数多くリリース。2023年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。現在、独カールスルーエ音楽大学教授。パリ在住。

山崎伸子 ベートーヴェン:チェロ作品全曲演奏会 ピアノ/津田裕也

2023年11月23日[木・祝] 14:00開演(13:15開場)

ソナタ第1番、第4番、モーツァルト「魔笛」の主題による12の変奏曲、ソナタ第3番

11月26日[日] 14:00開演(13:15開場)

ソナタ第2番、モーツァルト「魔笛」の主題による7つの変奏曲、ソナタ第5番/ほか

◆各公演券 全席指定 ¥3,000 一般発売:9月14日[木] 倶楽部E発売:9月8日[金]

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。
※内容などに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。